

投 稿 規 定

1. 投稿資格ならびに条件

投稿者は共著者を含め、原則として本学会会員とする。非会員の共著者が含まれる場合には共著者料を支払う。

2. 論文の採否

掲載の採否および特別掲載に関しては編集内規の定めるところに従い編集委員会で決定する。

3. 論文の種類

投稿論文は、和文または欧文とし、他誌に発表されていないものに限る。投稿は、総説、原著、症例、短報（手技、工夫、経験など）を受け付ける（投稿時に希望種別を明記すること）。

4. 重複投稿および二次掲載について

外国雑誌との重複投稿については、International Committee of Medical Journal Editorsの規定（2008年10月改訂）に則り、日本気管食道科学会はこれを重複投稿とはみなさない。ただし双方の雑誌の編集委員会から承認を得、二次掲載のタイトルページの脚注には一次掲載雑誌の著者、巻、号、頁、年を明記すること。

5. 著作権について

本学会誌に掲載された著作物の著作権は日本気管食道科学会に帰属する。

また、投稿に際して、既発表の図（写真を含む）、表、その他を引用転載する場合は必ず出典を明示し、著作権法に基づき、著作権者の書面による同意を得ること。万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、執筆者がその責を負うものとする。

6. 各種ガイドラインの遵守

症例報告を含む医学論文における患者のプライバシー保護に関するガイドライン、ヘルシンキ宣言、各種倫理指針、臨床試験の実施方法に関するガイドラインを遵守すること。

7. 原稿の書き方

原稿は、原稿ファイルと著者情報ファイルをインターネット上の電子投稿ページ（<http://mc.manuscriptcentral.com/kishoku>）より提出する。学会指定の原稿ファイル書式と著者情報ファイル書式は学会ホームページよりダウンロードできる。詳細は電子投稿ページの注意に従うこと。

原稿はA4判、横書き23字×20行、460字とする。和文原稿では、現代仮名づかい、楷書、横書きで、原則として常用漢字を用いる。句読点を正確に、外来語は片仮名を用い、外国人名、地名は原字そのままを用いる。文中の欧語は、固有名詞（人名、商品名など）を除き、原則として小文字を用いる。原稿には本文の1頁目より文献の最後の頁までに通しの頁を付ける。

8. 単位について

度量衡の単位は、m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, mEqなどを用いる。

9. 著者情報ファイル

著者名、所属、連絡先住所、電話番号、Fax、メールアドレス、利益相反については著者情報ファイルに記載する。利益相反（COI）自己申告書は全著者分を提出すること。

10. 原稿ファイルの構成

10.1) タイトル頁

タイトル頁には、論文の種類、標題、および原稿枚数、図表の枚数を明記し、そのみで独立した頁とする。

10.2) 本文

10.3) 文献

文献は特別な場合を除き20編以内とし、本文中において引用順に番号を付記し、原稿の末尾に一括して著者名（3名まで明記）、標題、雑誌名、巻、頁-頁、年を明記すること。単行本の場合は発行所名、地名を記すこと。他に同等の文献がない場合に限りインターネットのホームページを文献とすることを可とする。ホームページの場合は発行元、ページ名、URL、アクセス日（最新のもの）を記載する。

(例) 1) 気食太郎, 気食花子, 気食次郎・他: 気管・気管支の腫瘍. 日気食会報 26: 20-25, 1975.

2) Haglund S, Lundquist PG, Cantell K, et al: Interferon therapy juvenile laryngeal papillomatosis. Arch Otolaryngol 107: 327-332, 1981.

3) Jackson C: Life of Chevalier Jackson, autobiography, pp.99-105, The Macmillan Company, New York, 1938.

4) 村上 泰: 下咽頭腫瘍. 野村恭也, 石井哲夫編, 耳鼻咽喉科診断治療大系 4巻, pp.32-35, 講談社, 東京, 1986.

5) Whipp BJ, Pardy RL: Breathing during exercise. In: Fishman AP, ed., Handbook of Physiology, Sec-

tion 3: The respiratory system, Vol. 3 Mechanics of breathing, pp.606-629, Williams and Wilkins, Baltimore, 1986.

6) 国立感染症研究所: 中東呼吸器症候群 (MERS)・鳥インフルエンザ (H7N9) に対する院内感染対策 (2014年7月25日). <http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2186-disease-based/alphabet/hcov-emc/idsc/4853-mers-h7-hi.html> (2015/1/5 アクセス).

10.4) 和文要旨および英文抄録

総説, 原著および症例は500字以内, 短報は300字以内の和文要旨を付し, これに相当する英文抄録を添えること。

10.5) Key words

5語以内のKey wordsを付記すること。Key wordsは日本語と英語を併記する。

10.6) 図表

図表は和英どちらも可とするが, 論文内で統一する。図 (写真を含む), 表などの番号は, 和文の場合は図1, 表2, 英文の場合はFig. 1, Table 2のごとく示すこと。また, 図, 表などは, 一括して原稿の末尾に添付し, 本文中で図および表を引用すること。なお図は1図ずつ図番号を付記し, 図の説明は別紙に一括し, それのみで単独の頁とする。

写真は刷り上がり8.0×5.5 cm, 6×9 cmを標準とするが, 特殊なサイズについては投稿者が指定すること。枚数は原則として15枚以内とする。写真は原則としてカラーのデータ (本文Wordファイルに画像埋め込み可) とし, 原寸で400 dpi, 192万画素程度を推奨する。なお, 写真の場合8.0×5.5 cmは原稿用紙0.7枚, 6×9 cmは1枚に相当する。

11. 利益相反

著者が企業等から資金を得ている場合はそのことを利益相反自己申告書に明記すること。

論文は, 利益相反自己申告書に従って, 利益相反関係 (例: 研究費・特許取得を含む企業との財政的關係, 当該株式の保有, 公的研究費に基づくかどうか等) の有無を本文の最後に明記すること。利益相反関係がある場合には, 関係する企業・団体名も明記する。

(例) 利益相反に関する記載例

規定されたCOI状態がない場合

・本論文に関連し, 開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

規定されたCOI状態がある場合

・資金提供者の役割: ABC企業は, 契約のもとに当該臨床研究の結果報告書のレビューとデータ解釈に参加した。

・COI開示: 詳細はオンライン版を参照して下さい。

・謝辞: 当該臨床研究資金はABC企業によって提供された。本論文は資金提供者のレビューを受けた。著者らは関係する研究者とスタッフ, 本研究に参加した研究対象者およびABC企業所属の東京一朗氏と京都次郎氏に対し, 論文作成過程における有益な討論に感謝します。

COI開示: オンライン版 (オンラインジャーナルの電子付録として掲載)

著者ごとに, 論文内容に関連して企業等とのCOI状態が開示基準額以上であれば, 過去3年間をまとめて, 企業名を記載する。

(例) COI開示例

COI開示 (COI disclosure)

・東京太郎: A製薬, B製薬, C製薬, D製薬

・京都次郎: B製薬

・東京花子: A製薬, C製薬, F製薬

12. 校正について

著者校正とし, 校正時の原稿 (図表を含む) の加筆, 変更は認められない。

13. PDFファイルについて

著者は掲載版PDFファイルを無料で贈呈される。

14. 掲載費用について

原稿は刷り上がり図表を含み総説, 原著は4頁 (460字詰原稿用紙16枚), 症例は3頁 (12枚), 短報は2頁 (8枚) まで学会負担とし, 超過分については1頁あたり10,000円を著者負担とする。また図版作製および英文抄録や図表の英文の校閲, その他掲載に要した費用は別途申し受ける。急載論文の場合は, 諸費用全額著者負担のほか別途急載料として製作費の50%を支払わなければならない。

15. 原稿送付先

電子投稿ページ (<http://mc.manuscriptcentral.com/kishoku>) より受け付ける。投稿の詳細については電子投稿

ページの手順に従うこと。

問い合わせ先：〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2階 日本気管食道科学会事務局
電話 03-6388-9179 FAX 03-3356-4660 メールアドレス jbes@kishoku.jp

■ Letters to Editors

会員相互のコミュニケーションの場として日気食会報誌上に標記欄を設けております。掲載論文に対するご意見・感想等, その他, 活発かつ有意義な意見交換を願っております。奮ってご寄稿下さい。なお, 原稿の掲載の可否は編集委員会にご一任下さい。原稿枚数は400字×4枚以内, 表記等は投稿規定に準じて下さい。

■■■■ 「日気食会報」掲載論文と専門医単位について ■■■■

会報掲載論文の専門医取得単位は以下のようになります。

主著者	20単位
共著者	5単位

■■■■ 日本気管食道科学会奨励賞について ■■■■

会報に掲載された優秀な論文には日本気管食道科学会奨励賞が授与されます。

日本気管食道科学会賛助会員 (2024年6月10日現在)
50音順

H O Y A 株 式 会 社

株 式 会 社 高 研

学会ニュース

- 本学会 元参与の赤柴恒人先生は去る2024年3月6日逝去(享年74歳)されました。
 - 本学会 元理事の磯野可一先生は去る2024年4月3日逝去(享年91歳)されました。
- 謹んでご冥福をお祈りいたします。